

- 1 第225回ビジネスセミナー報告
- 2 第226回ビジネスセミナー／
教育文化部会主催ウェビナー報告
- 3 第227回ビジネスセミナー報告
- 4 各部会からのお知らせ／新入会企業紹介
- 5 7月、8月のイベントカレンダー

編集・発行 Japan Business Association of Southern California
1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone: 310-515-9522
制作協力 Lighthouse

©JBA 2020 本誌掲載の記事・写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

企画 マーケティング部会
第225回
JBAビジネスセミナー報告

「新型コロナウイルスの影響とITの活用」

去る6月12日、コロナ禍中とアフター・コロナにおける業務を効率化するためのIT活用をテーマに2回目のウェビナーを開催した。

【講師】

高木伸さん

日立ソリューションズの研究開発本部を経て、2007～13年までHitachi Solutions America、13～18年まで日立ソリューションズのグローバル事業本部勤務。18年よりHitachi Solutions AmericaのDirector Business Developmentに就任。



リモートワークの増加とメリット

セミナー前半の講師を担当した高木さんは、まず今回の新型コロナウイルスのパンデミックでワークフロムホームが加速化している現状から説明した。「2020年4月頭の数字で、在宅勤務の人数が米国の就業者の62%、約7000万人に上っています。3月中旬の31%から実に倍増しているのです。これにより、ウェブ会議システムが注目を集めています。今や飛行機に乗って出張して実際に会うのではなく、「Zoom」などのウェブ会議システムで会議をする時代となったのです。オンサイトの仕事も、今回のコロナ禍を契機にリモートに切り替えられています」。

「Zoom」利用者数は、19年の12月には1日1000万人だったのが、20年3月には2億人、4月には3億人に急増した。こ

の状況を受け、効率的なリモート会議の運営について高木さんは次のようにアドバイスした。「1回の大人数の会議から複数の少人数の会議の形態に変更していくことが有効です。目的と期待するアウトプットを事前に共有し、ツールとテンプレートを用意しておくことで効率的に進めることができます。また、参加者の映像の背景を同一にする(アプリを利用)ことで一体感を醸成するのいいと思います。カメラは常時オンにしておきましょう。人を見ること、また人に見られることで理解を促進することができます。責任感と集中力もアップします」。

また、リモートワークの利点と今後については、「勤務時間が(コロナ前)8時間だったのが、リモートに変えることで11時間になっています。前よりも仕事に集中できるだけでなく、(リモート会議の活用で)出張経費を使わずに済むのでコストを削減できます」と話し、リモートワークにシフトする企業として、Microsoft、Amazon、Twitter、Box、Google、Facebook、HITACHIを挙げた。

【講師】

阪本真悟さん

日本マイクロソフト入社後、製造業向けにデータ分析基盤を活用したシステムの技術支援などを担当。2018年より、米国マイクロソフトに転籍し、マイクロソフトのクラウド基盤「Azure」のData & AI関連のサービスを使ったシステムのアーキテクチャデザインや技術コンサルティングに従事。



クラウド、AI、VRを試してみる

続いて、Microsoftの阪本さんがセミナー後半を担当した。阪本さんがテーマとしたのは、「場所に依存せずに社員のコラボレーションをどう実現するか?」と「コストの削減、社員の生産性を最大限に上げるために何が出来るか?」の2点。その目的のために活用が推奨されるのがクラウドサービ

スだと阪本さんは続けた。「MicrosoftはAzureというクラウド環境を提供しています。そもそもクラウドとは何かと言うと、ハードウェアを購入することなく、必要な分だけソフトウェアやデータが利用できるサービスです。小規模から始めて必要な分を拡張していけばいいのです。Microsoftでは250以上のサービスをクラウドで提供しており、コロナの影響で需要は増大しています」。

さらに多くの企業で導入が推進されているAI(人工知能)が、いかに進歩してきたかを、阪本さんは次のように具体的な数字を挙げて紹介した。「Microsoft AIのデータを紹介します。視覚に関しては、AIの2016年の時点で物体認識の正答率が96%に達し、人間のレベルに到達しています。会話では、2017年には会話認識のエラー率が5.1%と、これも人間レベルに到達、翻訳の品質は中国語から英語への翻訳が2018年3月時点で69.9%です。読解力テストの正答率は2018年1月に88.5%に達しています。AIの顔認識も非常に精度が高くなっています」。特に、新型コロナウイルスで衛生面の懸念が生じる環境では、AIの音声によるサポートを利用することで、人が物理的にボタンを押すことなく音声のやりとりで用事が完結する利点もある。

また、VR(バーチャルリアリティ)の技術を人材のトレーニングに導入することで、実際に人と人が接することを回避しながら目的を達成することも可能な事例も紹介された。結論として「コロナの影響でIT活用の需要が急激に高まっており、クラウド活用も進み、サーバーレスな技術を導入することで開発コストやメンテナンスのコストを下げるすることができます。また、ビジネスの分野でもAIの活用が進んでいます。ビジネス変革が求められる現在の状況下では、まずAIを使ってみることが重要だと考えます」と締めくくった。

「外出制限の緩和・解除及び 職場再開に向けた 人事労務管理上の留意点」

新型コロナウイルス・パンデミックの影響で、日系企業も急な在宅勤務の導入や従業員の一時解雇、一時帰休など異例の措置に迫られている。そこで、去る6月17日、人事労務管理に関するセミナーをオンラインで開催した。

【講師】

三ツ木良太さん

HRM Partners、President / COO。日本電信電話株式会社（NTT）、ニューヨークに本社のあるコンサルティング会社を経て、2009年よりHRM Partners社に在籍。目標管理、業績評価、報酬戦略を含む人事制度の改善提案を多数手掛けている。



従業員の安全を最優先に

講師の三ツ木さんはセミナーの導入として次のように話した。「業界経験が40年になる弊社の会長と議論している中で、ビジネス面で多くの方が苦労されている点は大きく3つに集約されるのではないかとこの話になりました。それは、未知のウイルスへの対応ということで、先行きが不透明なために今後の計画や予測が立てづらい点、正しい情報の把握が不可能か困難である点、そして外出制限や再開にあたって業種・職種で対処が異なるという3点です」。

セミナー参加者に対しては、人員整理などを含む雇用対応を実施したかどうかに関するアンケートを取った（複数回答可）。結果は、「解雇実施：15%」「レイオフ（一時解雇）実施：7%」「ファーロウ（一時帰休／一時無給休職）実施：32%」「雇用対応は実施せず：63%」となり、多くの企業が何とか雇用継続に努めていることが数字からも明らかになった。一方、アメリカ全体の状況を把握するために、大手で何らかの雇用対応を実施、または経営破綻した企業について業種ごとの傾向分析を含めて紹介した後、労働省労働統計局が発表してい

る失業率に触れ、「失業率は4月に14.7%で5月に13.3%と回復していますが、失業保険受給者数を見ると大きくは減っていないのが分かります。雇用・労働市場の回復については今後も注視していかなければなりません」と付け加えた。

次に参加者に対して在宅勤務の導入に関するアンケートを実施。96%の企業が在宅勤務を何らかの形で導入したという結果を踏まえ、「在宅勤務を継続するかどうかを含め、SHRM（米国人材マネジメント協会）からのデータなどの情報を検討し、判断に役立ててほしい」と推奨した。

後半では、再開に向けての注意点が解説された。「従業員の安全と健康に気を付けることは最も重要ですが、人事労務管理面では他にも気にしておいていただきたいことがあります。たとえば、組織体制・人員計画の見直し、在宅勤務を含む多様な働き方、職責・職務範囲（ジョブ・ディスクリプション）の見直し、勤怠管理、業績管理・評価制度の見直しなどです」。

さらに、雇用上の決定にあたっての差別禁止や報復行為禁止について参加者に強く注意を促した。

教育文化部会

「コロナ禍における家庭での子育て・ しつけの方法、気にするべき子どもの 症状と対処法」ウェビナー報告

去る6月19日、教育文化部会主催によるウェビナーを、カリフォルニア州公認心理カウンセラーの荒川龍也さんを講師に迎えて開催した。

親のセルフケアが重要

荒川さんは、パンデミック時に親として重要視すべきことから説明を始めた。「新型コロナウイルスで恐怖が蔓延しています。現時点で分かっていることが非常に少ないだけでなく、情報もすぐに変わります。この事態を親も子どもも把握できないということが実情です。まずは、身体的健康を優先してください。それと同時に心の健康も大切です。心と体はつながっているからです」。

親は在宅勤務、子どもは自宅でオンライン授業という状況で、常に同じ屋根の下に親子がいることで、関係性に亀裂が入ることがある。これに関しては、荒川さんは次のようにアドバイスした。「良好な関係性を維持することを重要視してください。そのために必要なのはセルフケアです。親が幸せでないと、子どもとの良好な関係を築くのは難しくなります。特に、お父さんのお母さんへの助けが大事です。子ども専門の心理カウンセラーとしての経験上、子どもが心の病を発症した場合、お父さんがお母さんの育児を助けているケースでは、子どもの病気が治りやすいということが言えます。ぜひ、旦那さんにお話をして、育児を手伝ってほしいと話してみてください」と、子どもの心の健康を守るには、まず親が心の健康を維持できていることが重要であり、パートナーの助けが不可欠になると荒川さんは強調した。

また、育児でぜひ実践してほしいと荒川さんが語るのは、「ルール作りとその実行」だ。「日本人の家庭では、ルールがはっきりしないことが少なくありません。厳し過ぎるとか、子どもにかわいそうなどと言う人がい



荒川さん(下中央)と、開催に携わった教育文化部会員ら。

ます。しかし、明確なルールがある方が安心だし、実は子どもにとっても助かるのです。どういう罰がいいか、よく聞かれます。それはお子さんによって変わります。いつもより早く寝かせるとか、好きな物を取り上げるとか、何をされるとその子どもが一番言うことを聞かということに着目してください」。

子どもの様子で注意をした方が良いのは次のようなものだ。「コロナの前と違う様子、例えばイライラや怒り、反抗的な態度などです。食欲が減退していたら、すぐに医師または心理カウンセラーに相談してください」。異常を感じたらすぐに自分だけで解決しようとせず、専門家に相談するようにと荒川さんは参加者に呼びかけ、ウェビナーを締めくくった。

「ニュー・ノーマルを生き抜くための 変革プロジェクトの作り方」

去る6月23日、コロナ後のニュー・ノーマルに対応する企業に生まれ変わるためのアイデアや情報を提供するビジネスセミナーをオンラインで開催した。

【講師】

白川克さん

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社COO。IT投資計画策定、人事、会計、販売管理、顧客管理、ワークスタイル改革、全社戦略立案など、幅広い分野のプロジェクトに参加。



【講師】

広部誠さん

Calsoft SystemsシニアERPコンサルタント。2012年、同社に入社以来、多数のERP導入プロジェクトに中心メンバーとして従事。現在は主に米国中国西部の日系企業を担当している。



変革プロジェクトの実例を紹介

第1部は「今がその時！ 成功する変革プロジェクトの作り方～実際のプロジェクト事例をベースに考える」と題し、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズの白川さんが講師を務めた。白川さんは最初に「変革プロジェクトで実施されるDX（デジタルトランスフォーメーション）とは、新たなIT技術を活用しつつ、ビジネスモデルを変えたり業務のやり方を大きく変えたりすることです」と話した。

白川さんが手掛けた生命保険会社のDXでは、営業職員が持つ携帯端末の刷新を行った。プロジェクト前の議論で分かったことは「縦割り組織をつなぐリーダーが不足している」「社外の風を取り入れた経験がない」「なるべく自前でやりたい」「優秀な人材を多数投入可能」だという点。最初の半年でコンセプト固め、業務調査、システム調査、課題分析、施策立案、プロジェクト計画立案を行い、その後の2年半で業務プロセス設計、要求定義、システム設計と開発、浸透教育、さらに稼働フォローで完遂した。その結果、ユーザー（営業職員）から好反応が得られたということだ。

第2部はCalsoft Systemsの広部さんが、過去3年で急速に普及したクラウドERPとその活用事例について解説した。ERPシステムとは、企業の業務を統合管理する「基幹業務システム」で、そのシステムをクラウド上のサービスとして利用できるのがクラウドERPだ。

クラウドERPの特徴について広部さんは、「定額の利用料金で使用することが可能」「システム・サーバーのメンテナンスが不要」「定期的なアップデートにより常に最新バージョンを利用可能」「インターネット経由でシステムにアクセスするため、自宅・出張先から自由にアクセス可能」「ウェブブラウザがあればシステムを利用できるため各自のPCにインストール不要」「自社資産として保持しないため、より良いシステムサービスに乗り換えがしやすい」という点を挙げ、「すでに、ITシステムは持たない時代です。クラウドERPはカスタマイズできないというのは過去の話であり、倉庫・工場の現場系の機能もクラウドERPで対応できます。承認・電子サイン・帳票の電子保管やバーコードでの在庫管理も可能です」と説明した。



ERPのクラウド化なら弊社にお任せ下さい！

システム移行のアセスメントから、構築、運用まで、御社のクラウドERP導入をトータルでサポートします。

クラウド化をお勧めする理由

1. ITコスト・運用の負担を軽減
2. 強固なセキュリティ
3. 事業に合わせた拡充性
4. ユーザの使用感の向上
5. モバイルからのアクセス性

アセスメントサービス「ERP Cloud Readiness」

- AX2012からDynamics 365への移行アセスメント
- D365とのFit & Gap分析
- データ・カスタムコードの分析
- 移行方法・手順の検討

- 成果物
 - ・ソリューション概要
 - ・移行計画の策定・費用見積
 - ・クラウド化によるROI計算書
- 4週間・\$30,000



● TEL: (650)615-7621 ● Email: info-jp@hitachisolutions.com
● 担当: 黒田 ● Web: https://us.hitachi-solutions.com/jp/



Gold Enterprise Resource Planning
Gold Application Development
Gold Cloud Business Applications
Gold Data Analytics
Gold Cloud Productivity

RPA で働き方改革

Robotic Process Automation



<https://us.kddi.com/la-sales@kddia.com>
310-618-6000




オムニチャネルで
世界中のお客様と双方向のコミュニケーション

各部会からのお知らせ

ダウNTown地域部会

「新規赴任者応援プロジェクト」を進めています!

文：ダウNTown地域部会

新型コロナウイルスの蔓延で制限の多い日々ですが、その渦中にアメリカへ赴任してこられた方のお手伝いをするウェブ歓迎会を随時行っています。普通なら簡単に手に入る情報が得られない、そんな皆さんにJBAメンバーが経験のおすそ分けをしています。「Zoom」でバーチャル歓迎会をやりながら、少人数であーだこーだ、役に立つ実話をお話して、皆さんのLA生活のスタートのお手伝いをします。開催日時は相談の上決定しますので、まずはJBA事務局までご希望をお寄せください。

あさひ学園だより

七夕について、オンライン授業で学習しました

文：あさひ学園事務局

6月27日、オンライン授業が始まって第3回目となりました。先生も生徒たちもこのような授業にだんだんと慣れてきたようです。小学部1、2年の学習教室で「七夕」についてオンライン授業でしっかりと学習しました。

授業の始まりには、部屋の電気を暗くし、夏の夜空の雲気づくりをご家庭にもお願いしました。その後、パワーポイントスラ



皆、上手に短冊を作りました。願いが叶うよう、頑張ってくださいね!

イドで天の川、夏の大三角を紹介、続いてインターネット紙芝居で七夕の彦星と織姫、悲恋話です。お話が終わった後は、お部屋を明るくして、笹飾り一つずつ紹介、それぞれに込められた意味をみんなで予想しました。

最後に短冊の作成です。白い紙を4等分に折り、ハサミで切ったら、その1枚にお願い事を書きました。「あれが欲しい、これが欲しい」というおねだりではなく「上手になりたいこと」を短冊に願いを込めて書きました。最後に生徒それぞれが書いたものをカメラに近づけてみんなに紹介し、自分の願いを読んでもらいました。

授業の最後、例年であれば、学校でみんなと一緒に笹飾りをするところなのですが、今回は「七夕の日には外に出て、織姫と彦星を探してみようね」という声掛けでの締めくりとなりました。今年はオンライン授業で学んだ星(織姫と彦星の星)と天の川を、実際に空を見上げて探してみることも、子どもたちにとっては良い夏の思い出になるでしょう。

新入会企業紹介

弊社ビジネスとサービス哲学は、日本の商慣習と非常によく似ていると感じています。日本企業の皆様と良きパートナーになれるよう、入会致しました。



クリス・アンダーソンさん

Orkin Pest Control

DATA

住所：12710 Magnolia Ave., Riverside, CA 92563 / 1053 Crenshaw Blvd. Los Angeles, CA 90019 (LA支店)
 ☎ 323-229-8012 (Rick Shikai)
 Web: www.orkin.com
 責任者：クリス・アンダーソン (Region Sales Manager)
 他の営業拠点：親会社 Rollins, Incの拠点は、米国各州、カナダ、中米、南米、中東、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オーストラリアなど700以上。

Orkin Pest Controlの親会社である Rollins, Inc. は、一般消費者および企業向けの世界的サービス企業です。多くの子会社を通じ、世界で200万人以上の顧客に害虫、ネズミなどの駆除サービスを提供しています。また、断熱材、調湿、消毒など、家庭や商業ビルを保護するための総合的なサービスも提供しております。2017～20年の4年連続で『The Atlanta Journal-Constitution』誌から「Top Workplaces Award (大企業部門)」を受賞しており、働きやすさも高く評価されています。



NAGANO MORITA LLP
 CERTIFIED PUBLIC ACCOUNTANTS

www.nagano-morita.com

日米会計・税務・コンサルティング総合サービス 永野・森田米国公認会計士事務所

Valuable International Professional

“Client First”をモットーにグローバル対応した
 総合サービスをご提供します。

7/8月のJBAイベントカレンダー

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

- 7/16 (木) 第2回オンライン異業種交流会 企画マーケティング部会
 7/24 (金) ウェビナー(ビールに関するセミナー) 企画マーケティング部会
 7/24 (金)~26 (日) おうち時間を楽しもう!「お絵描きクマパン」 オレンジカウンティ地域部会

コロナ禍に苦しむ日本食レストランを応援しませんか?

現在ご存知の通り、南カリフォルニアの多くの日本食レストランがコロナ禍で苦しんでいます。JBAとしては日系企業が集まる経済団体として、少しでもこれらの飲食店を支援できたらと考えています。ぜひ、これらのレストランをテイクアウトなどで積極的に利用していきませんか?

▼主な日本食レストランのリストはこちらから▼

- 「ToGo Los Angeles」(www.us-lighthouse.com/togo)
- 「テイクアウト&デリバリー飲食店250軒」(www.lalalauusa.com/article/public/1555)

新入会員

ASC Healing Inc.

21151 S. Western Ave., Suite 117, Torrance, CA 90501

☎ 310-212-6480

Unicast Robotics Inc.

2821 Verano Pl., Irvine, CA 92617

☎ 949-423-6489

スタート・パシフィック



STARTS

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



<p>日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー</p> <p>スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールド・トランスにございます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!</p>	<p>海外への進出企業を一括サポート</p> <p>オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。</p>	<p>もちろん、個人の住宅もサポート</p> <p>ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。</p>	<p>●ロサンゼルス店: TEL (310)782-7877 1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501 info@startsla.com www.starts.co.jp/la</p> <p>●ニューヨーク店: TEL(212)599-7697 www.startsnewyork.com</p> <p>●サン jose 店: TEL(408)380-2499 www.starts.co.jp/sanjose</p>	<p>●スタートコーポレーション株式会社: TEL (03)6202-0111(代表) 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10 スタート八重洲中央ビル www.starts.co.jp</p> <p>●ハワイ店: TEL(808)947-2280 www.startshawaii.com</p> <p>●ダラス店: TEL(646)708-6194 www.kaigai.starts.co.jp/dallas</p>
--	---	---	---	--

「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は 米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします。

- ・渡米前に日本から米国の口座を開設し生活費を送金しておきたい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の口座を利用し、日本から口座を解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**

(フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group